

大雨による防災情報（第4報）

湯沢河川国道事務所
災害対策支部【警戒体制（砂防）】継続

湯沢河川国道事務所では災害対策支部警戒体制（砂防）を継続しています。
現地の降雨が小康状態となったことから、15時15分より管内の溪流の状況調査を開始しています。
なお、仙北市にリエゾン2名を派遣しております（15時35分着）。

※アンダーライン箇所が前回からの更新箇所

◆砂防降雨状況（8月9日15時00分現在）

山系	雨量観測所 (仙北市)	連続雨量	時間雨量 14～15時
八幡平山系 (秋田県側)	黒湯	123mm	1mm
	熊ノ台	235mm	4mm
	生保内	156mm	3mm
	小先達	272mm	4mm

◆災害支部体制

	注意体制	警戒体制	非常体制	解除
砂防		8月9日 9時00分	—	—
道路	8月9日 10時00分		—	8月9日 11時00分

◆その他

仙北市田沢湖田沢地内で土砂災害が発生している情報が入っています。詳しい情報は、仙北市の災害対策本部に確認下さい。引き続き気象情報にご注意願います。

発表記者会：秋田県政記者会、横手記者会、秋田魁新報社大曲・湯沢・角館支局

《問い合わせ先》

国土交通省 東北地方整備局 湯沢河川国道事務所
秋田県湯沢市関口字上寺沢64-2
TEL 0183-73-3174（事務所代表）

〈砂防〉 副所長 土田 恒年（内線204）
調査第一課長 畑山 作栄（内線351）